ヨコハマトリエンナーレ2011
YOKOHAMA TRIENNALE 2011

記者会見資料

2011年5月26日

横浜トリエンナーレ組織委員会

ご挨拶

ヨコハマトリエンナーレ2011を開催できることを、心から嬉しく思います。

3.11東日本大震災の発災は、本展の東京における記者会見のまさに開始直前のことでした。そしてこの日以降、我が国の状況は大きく変わり、多くの展覧会が延期や見直しを余儀なくされました。

本展についても、作品をお貸しいただけるか、作家の皆様に来日していただけるか、とても心配でした。しかしその心配を外に、作家の皆様には励ましの言葉をいただいた上、出品を約束してくださり、本展は予定通り開催できる運びとなりました。関係者の皆様にも、大きな後押しをいただきました。
震災以降、依然自粛ムードが広がっています。しかし私たちが普段どおりの生活を取り戻し、社会、経済活動を活性化することが、被災地を含む、日本全体を力づけ、元気にしていくのではないでしょうか。

私は、本展の開催を通じて、アートの力を、世界中からの励ましや勇気を、アーティストが発信する創造性や多様性を、被災地の皆さん、そして日本中の皆さんの心にしっかり届けたいと考えています。文化芸術の持つ創造力は、必ずや、新たな希望への架け橋になると確信しています。
開催にあたり、多くの方々にご助言、ご尽力いただいていることに深く感謝申し上げますとともに、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。
ヨコハマトリエンナーレ2011にぜひともご期待ください。

横浜トリエンナーレ組織委員会会長
横浜市長
林 文子

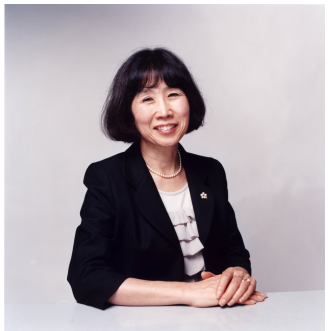
ご挨拶

東日本大震災の被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興と皆さまの生活基盤の整備を願っております。

ヨコハマトリエンナーレ2011は、8月6日から11月6日まで、予定通り開催いたします。
未曾有の災害から2カ月余、日本全体が困難を乗り越えるべく努力している時期ですが、このような時期であるからこそ、足元を再確認し日常を積み重ねてゆくことの大切さを実感しております。
昨年10月のキック・オフ以降、私たちは短い準備期間で、多くのハードルを越えながら走り続けてきました。3月11日は午後3時から予定していた東京での記者会見直前に大震災が発生し、記者会見は中止となりましたが、このたび再び開催できますことを、大変ありがたく思います。
この間、実施に向けて様々な検証を重ねてきましたが、国内外の出品作家をはじめ、関係者の皆さまからは、積極的な参加の意思や激励をいただき、感謝とともに身の引き締まる思いで、準備を進めてまいりました。
ヨコハマトリエンナーレ2011の展覧会タイトル「OUR MAGIC HOUR－世界はどこまで知ることができるか？－」が示すように、世界は私たちの知識を超えた不思議に満ち、複雑で多様です。本トリエンナーレが、醜さや素晴らしさを併せ持つ人間の姿とともに、世界の多様性や奥深さを示し、困難の中から新たな一歩を踏み出す一助となれば幸いです。

ファーストよりもスローへ、そして量よりも質へと、身の丈にあった倫理的で共存的な生き方への関心が高まりつつある今日、ヨコハマトリエンナーレ2011は小さな活動の輪を結ぶ試みを地道に実行したいと考えます。
主会場となる横浜美術館と日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）でのコンパクトでありながら質の高い展示に加え、会期中、特別連携プログラム会場をはじめとする、創造都市横浜ならではの多様な種子をつなぎ、多くの方にご来場いただけるよう充実をはかります。どうぞご期待下さい。

ヨコハマトリエンナーレ2011
総合ディレクター
逢坂 恵理子



撮影：鈴木理策

ヨコハマトリエンナーレ2011総合ディレクター、横浜美術館館長
国際交流基金、ICA名古屋で、多くの現代美術の国際展にかかわり、水戸芸術館美術センター(1994-2006年、1994年より主任学芸員、1997年より芸術監督）、森美術館アーティスティック・ディレクター（2007-2009年）を経て、2009年4月より現職。第49回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナー（2001年）など、豊富な経験を持つ。学習院大学文学部哲学科卒業、芸術学専攻。

開催概要

ヨコハマトリエンナーレ2011
OUR MAGIC HOUR－世界はどこまで知ることができるか？－

■ディレクター
総合ディレクター：逢坂恵理子
アーティスティック・ディレクター：三木あき子

■会期
2011年8月6日（土）～ 11月6日（日）
（休場日：８月、９月の毎週木曜日、10月13日（木）、10月27日（木））

■会場
横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）、その他周辺地域

■会場時間
11:00～18:00　※入場は17:30まで

■主催
横浜市、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

■共催
公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

■支援
文化庁　国際芸術フェスティバル支援事業

■特別協力
JAPANFOUNDATION 国際交流基金

■協賛
三菱地所株式会社、森ビル株式会社、日産自動車株式会社、アサヒビール株式会社、
JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社、株式会社大林組、川本工業株式会社、株式会社資生堂、
株式会社崎陽軒、株式会社サカタのタネ、株式会社横浜銀行、横浜信用金庫、馬淵建設株式会社、
みなとみらい21熱供給株式会社

■助成
財団法人アサヒビール芸術文化財団、公益財団法人野村財団

■寄附
横浜信用金庫

■特別連携プログラム
BankART Life Ⅲ（新港ピア）、黄金町バザール2011（黄金町エリア）

開催概要

■前売券発売予定
2011年６月１日（水）
全国のプレイガイド、コンビニエンスストアなどで発売
（詳細はホームページで）
※前売券販売期間 2011年6月1日(水)から8月5日(金)まで

■入場料

＜お得なセット券＞　特別連携セット券　（円）

	一般	大学・専門学校生	高校生
前売券	1,400	900	400
当日券	1,800	1,200	700

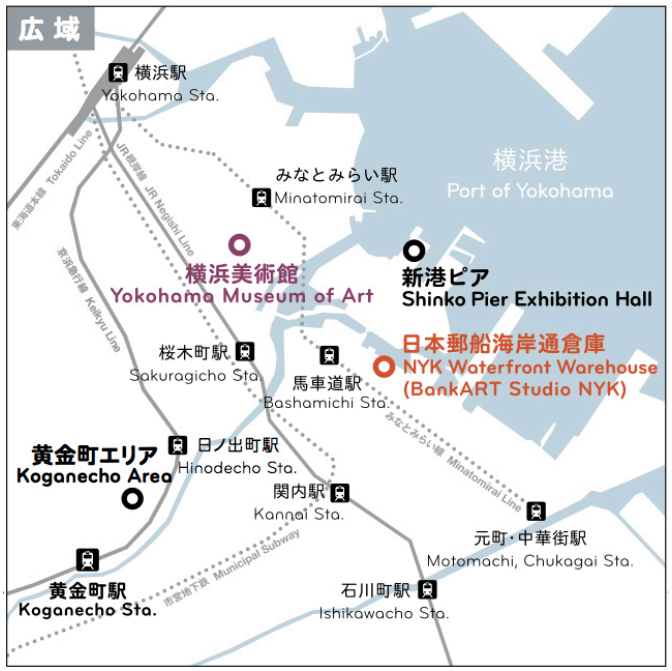
ヨコハマトリエンナーレ2011　（円）

	一般	大学・専門学校生	高校生
前売券	1,200	700	300
当日券	1,600	1,000	600

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
※会場で20名以上当日券購入の場合団体割引あり
※ヨコハマトリエンナーレ2011チケットは1会場1日有効
※特別連携セット券は、「BankART Life Ⅲ」（新港ピア)、「黄金町バザール2011」（黄金町エリア）との共通入場券
各会場で会期中有効のフリーパスと引き換えます

アクセス・マップ

■メイン会場（横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK ）
と特別連携プログラム会場（新港ピア、黄金町エリア）を巡回する会場間無料バス運行予定。



〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

■アクセス
みなとみらい線「みなとみらい駅」 5番出口
又はクイーンズスクエア連絡口 徒歩５分
JR線、横浜市営地下鉄線「桜木町駅」 徒歩10分

〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9

■アクセス
みなとみらい線「馬車道駅」6番出口
「赤レンガ倉庫口」 徒歩4分

メッセージ

はじめに、数多くのヨコハマトリエンナーレ2011参加アーティストから、東日本大震災の被災者の皆様に対するお見舞いの言葉が届いておりますことを、ご報告いたします。

私自身、震災発生後の約1ヶ月間、芸術に関わる立場で何をすべきかを自問しつつ、特に海外各地を周り、アーティストたちと様々な議論を重ねてきました。そうした話合いを通して、彼らと共有、確認出来たのは、各々がそれぞれの立場で出来る努力をするということ、すなわち、私たちの住む環境や人間存在に対する真摯な問いを投げ掛ける質の高い展覧会を実現することこそが、人々に前進する勇気や希望、感動を与えることに繋がるであろう、ということでした。さらには、人間個人の可能性を最大限まで見極めようとする芸術には、様々な従来のシステムが疑問視され、根本的な社会転換の必要性が高まっている今、既存の価値観に揺さ振りをかけ、人々の意識に働きかける、なんらかの力を持ち得るはずなのではないか、ということです。

震災後、各所で展覧会の延期といった影響が少なからず見受けられますが、本トリエンナーレ実施の考えに対して、参加アーティストたちだけでなく、関係画廊や所蔵家の皆様からも、評価と激励、そして、変わらぬ支援の意向を本当に沢山示していただきました。加えて、非常に限られた時間での準備にかかわらず、改めて参加の意思や新作への取り組み等をご提案くださった方々も多く、「作家魂」のようなものを目の当りにいたしました。その気持ちに応える意味でも、各参加アーティストにとって、また、実施に関わる私たちやお越しいただいた観客一人ひとりにとって、何か特別な、記憶に残る展覧会にしなければならない、と改めて肝に銘じております。

本展は、決して派手さや奇抜さを強調するものではなく、上述のような、それぞれの思いが共鳴し合い、また作品同士が拮抗し刺激し合うことで、人間の想像力、創造力、強さ、可能性を、再確認出来るミラクルな時間の旅となることを願っています。

ヨコハマトリエンナーレ2011
アーティスティック・ディレクター
三木 あき子

ヨコハマトリエンナーレ2011 アーティスティック・ディレクター
インディペンデント・キュレーター、電通アートプロジェクト共同ディレクターなどを経て2000年にパレ・ド・トーキョー（パリ）のチーフ・キュレーターに就任。現在パリを拠点に活動。バービカンアートギャラリー（ロンドン）や韓国国立現代美術館等での企画、台北ビエンナーレ等の国際展での経験も多数。
米国ワシントン大学美術史科卒業、パリ第四ソルボンヌ大学美術史修士課程修了。

OUR MAGIC HOUR
ー世界はどこまで知ることができるか？ー

21世紀初頭の現在、科学技術は高度に発達し、インターネット等のメディアによって世界は隅々まで明らかにされたかに思えます。しかし、我々の身の回りには、まだまだ科学や理性では説明できない世界の不思議が多く存在するとともに、科学技術の発展によって我々の時空間概念も大きく変容しつつあります。

4回目となる横浜トリエンナーレでは、「OUR MAGIC HOURー世界はどこまで知ることができるか？ー」というタイトルのもと、世界や日常の不思議、魔法のような力、さらには超自然現象や神話、伝説、アニミズム等に言及した作品に注目します。この方向性は、決して科学の限界を問うものでも、また神秘主義を讃えたり、単にアートの娯楽性のみを追求するものでもありません。それよりも、こうした科学や理性では解き明かせない領域に改めて眼を向けることで、これまで周辺と捉えられていた、あるいは忘れ去られていた価値観や、人と自然の関係について考えるとともに、より柔軟で開かれた世界との関わり方や、物事・歴史の異なる見方を示唆しようとするものです。

今回、横浜美術館と日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）という、ふたつの主会場の屋内外に、60余名の現代アーティストの作品を中心に、横浜美術館の所蔵品も一部加えて展示します。サイトスペシフィックなインスタレーションや映像メディアを駆使した作品から、近代絵画やコプト織のような歴史的作品まで、制作年代も素材も大きく異なる多種多様な作品群で構成される予定です。

このように、本展では、展覧会の各所に、さまざまな意外な「遭遇・出会い」があることが特徴的といえます。単に観客参加型の作品を含むということではなく、各種テーマや枠組みを通して、時代や世代、文化背景、ジャンルの異なる作品が対峙・対話、関係性をもつことで、新たな解釈や創造が生まれたり、分類やカテゴリーにとらわれない自由な鑑賞の旅を促します。また、今回から横浜美術館も主会場のひとつとなったことを受けて、アーティストたちと協働で美術館の所蔵品や美術館という場所に新たな視点を投げかけもします。

「謎や矛盾を柔軟に受け止め、視点を変えれば、魔法のように、世界は開けるかも知れない」―ヨコハマトリエンナーレ2011は、先行きの見えない混沌の時代といわれる現在、そうした思いのもと、既成の枠組みや観念に縛られず、子供のように純粋な好奇心と柔軟性、想像力をもって、我々の住む環境や時代、人間存在について改めて考えようとするものです。

＊「OUR MAGIC HOUR」は、ウーゴ・ロンディノーネの作品タイトルでもあり、本作は横浜美術館屋外に設置予定。

ヨコハマトリエンナーレ2011
アーティスティック・ディレクター
三木 あき子

-

参加作家

※2011年5月現在、予定、写真は参考作品です。
※[b] born　[d] died　[l/w] live and work

YOKOHAMA 2011

1　**安部 泰輔／ABE Taisuke**
1974年 大分県生まれ。同在住。
[b] 1974, Oita, Japan [l/w] Oita

《太郎の泉》2010　岡本太郎＜明日の神話＞原画特別展示展示風景、広島市現代美術館
©Taisuke Abe　photo by Takashi KUBO

2　**荒木 経惟／ARAKI Nobuyoshi**
1940年 東京都生まれ。同在住。
[b] 1940, Tokyo [l/w] Tokyo

《古希ノ写真》2010
Courtesy of Taka Ishii Gallery

3　**リナ・バネルジー／Rina BANERJEE**
1963年 コルカタ(インド)生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1963, Kolkata, India [l/w] New York

《I'll get you my pretty!》 2009
Courtesy of the artist and Haunch of Venison, London

4　**マッシモ・バルトリーニ／Massimo BARTOLINI**
1962年 チェーチナ(イタリア)生まれ。同在住。
[b] 1962, Cecina, Italy [l/w] Cecina

《Organi》 2008
Installation View at Galleria Massimo de Carlo, Milan, Italy. 2008.
Courtesy: Fundación Helga de Alvear, Madrid - Cáceres, Spain

5　**ミヒャエル・ボレマンス／Michaël BORREMANS**
1963年 ヘラールツベルヘン(ベルギー)生まれ。ゲント在住。
[b] 1963, Geraardsbergen, Belgium [l/w] Ghent

《The Trees》2008　国立国際美術館蔵
© Michaël Borremans / Courtesy　Zeno X Gallery, Antwerp and Gallery Koyanagi

6　**ジェイムス・リー・バイヤース／James Lee BYARS**
1932-1997年 ミシガン州デトロイト(アメリカ)生まれ。カイロにて没。
[b] 1932, Detroit, Michigan, USA [d]1997, Cairo

《Five Points Make a Man》Performance View
Courtesy Michael Werner Gallery, Berlin, Cologne & New York Photo: Thomas Müller

7　**ミルチャ・カントル／Mircea CANTOR**
1977年 ルーマニア生まれ。地球在住。
[b] 1977, Romania [l/w] Earth

《Tracking Happiness》2009　still from the film　© 2009 Mircea Cantor
Courtesy the artist; Yvon Lambert, Paris and Dvir Gallery, Tel Aviv

8　**ピーター・コフィン／Peter COFFIN**
1972年 カリフォルニア州バークレー(アメリカ)生まれ。
ニューヨーク在住。
[b] 1972, Berkeley, California, USA [l/w] New York

《Untitled (Greenhouse)》 2002
Courtesy of the artist, ©Peter Coffin, 2011

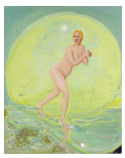
9　**ヴェナンツォ・クロチェッティ／Venanzo CROCETTI**
1913-2003年 ジュリアノーヴァ(イタリア)生まれ。ローマにて没。
[b] 1913, Giulianova, Italy [d] 2003, Rome

横浜美術館
コレクション

10　**ビョルン・ダーレム／Björn DAHLEM**
1974年 ミュンヘン(ドイツ)生まれ。ベルリン在住。
[b] 1974, Munich, Germany [l/w] Berlin

《Milchstraße (Milky Way)》2008
Courtesy of hiromiyoshii

11　**ヴェルネ・ドーソン／Verne DAWSON**
1961年 アラバマ州メリディアンヴィル(アメリカ)生まれ。
ニューヨーク在住。
[b] 1961, Meridianville, Alabama, USA [l/w] New York



《The Days of the Week (Friday)》2005
Private Collection, Italy
courtesy of Victoria Miro Gallery, London and Gavin Brown's enterprise, New York

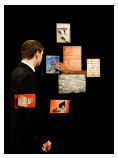
12　**デワール & ジッケル／DEWAR & GICQUEL**
ダニエル・デワール:1976年 フォレスト・ディーン(イギリス)生まれ。パリ在住。
グレゴリー・ジッケル:1975年 サン=ブリユー(フランス)生まれ。パリ在住。
Daniel DEWAR [b] 1976, Forest Dean, UK [l/w] Paris
Grégory GICQUEL [b] 1975, Saint-Brieuc, France　[l/w] Paris

《Otter and Trout》2007 Private collection, Paris, France, View of the exhibition Dewar & Gicquel,
FRAC Basse Normandie, Caen, 2007　Photo Marc Domage　COURTESY GALERIE LOEVENBRUCK, PARIS

13　**マックス・エルンスト／Max ERNST**
1891-1976年 ブリュール(ドイツ)生まれ。パリにて没。
[b] 1891, Brühl, Germany [d] 1976, Paris

横浜美術館
コレクション

14　**オレリアン・フロマン／Aurélien FROMENT**
1976年アンジェー(フランス)生まれ。ダブリン在住。
[b] 1976, Angers, France [l/w] Dublin



《Théâtre de poche》 2007　Production still, Photo: Aurélien Mole
Courtesy the artist and Motive Gallery, Amsterdam

15　**ライアン・ガンダー／Ryan GANDER**
1976年 チェスター(イギリス)生まれ。ロンドン在住。
[b] 1976, Chester, UK [l/w] London

《A sheet of paper on which I was about to draw, as it slipped from my table and fell to the floor》 2008　Photo by Ikon Gallery, Jerry Hardman-Jones
©Ryan Gander Courtesy of TARO NASU　Daiwa Collection

16　**ヘンリック・ホーカンソン／Henrik HÅKANSSON**
1968年 ヘルシンボリ(スウェーデン)生まれ。
フォルケンベルグ、ベルリン在住。
[b] 1968, Helsingborg, Sweden [l/w] Valkenburg and Berlin

《Fallen Forest》 2006　Installation view from the solo exhibition 'A travers bois pour trouver la forêt',
Le Palais de Tokyo, Paris, 2006　Courtesy Galleria Franco Noero, Turin

17　**韓盛弼（ハン・スンピル）／HAN Sungpil**
1972年 ソウル(韓国)生まれ。ソウル在住。
[b] 1972, Seoul, Korea [l/w] Seoul

《Melting》 2008
©Han Sungpil.　Courtesy Arario Gallery, Seoul and Cheonan

18　**イェッペ・ハイン／Jeppe HEIN**
1974年 コペンハーゲン(デンマーク)生まれ。
コペンハーゲン、ベルリン在住。
[b] 1974, Copenhagen, Denmark [l/w] Copenhagen and Berlin

《Smoking Bench》2002　Installation view　at ARoS, Denmark, 2009　Photo by Ole Hein Pedersen
Courtesy: Johann König, Berlin, 303 Gallery, New York and SCAI THE BATHHOUSE, Tokyo

-

参加作家

※2011年5月現在、予定、写真は参考作品です。
※[b] born　[d] died　[l/w] live and work

YOKOHAMA 2011

19 **ダミアン・ハースト／Damian HIRST**
1965年 ブリストル(イギリス)生まれ。デヴォン在住。
[b] 1965, Bristol, UK [l/w] Devon

20 **池田 学／IKEDA Manabu**
1973年 佐賀県生まれ。バンクーバー在住。
[b] 1973, Saga, Japan [l/w] Vancouver

《くさかまきり》 2004 撮影：宮島径　個人蔵
©IKEDA Manabu　Courtesy Mizuma Art Gallery

21 **今村 遼佑／IMAMURA Ryosuke**
1982年 京都府生まれ。同在住。
[b] 1982, Kyoto, Japan [l/w] Kyoto

《ひるのまをながめる》 2011 資生堂ギャラリーでの展示風景
撮影：加藤健

22 **石田 徹也／ISHIDA Tetsuya**
1973-2005年 静岡県焼津市生まれ。東京にて没。
[b] 1973, Yaizu, Shizuoka, Japan [d] 2005, Tokyo

《屋上へ逃げる人》 1996
協力：ギャラリーQ／石田徹也展実行委員会　個人蔵

23 **岩崎 貴宏／IWASAKI Takahiro**
1975年 広島県生まれ。同在住。
[b] 1975, Hiroshima, Japan [l/w] Hiroshima

《Out of Disorder (Complex)》 2009
Courtesy of the artist and ARATANIURANO

24 **泉 太郎／IZUMI Taro**
1976年 奈良県生まれ。東京都在住。
[b] 1976, Nara, Japan [l/w] Tokyo

《スラングとしての魚の骨》 2010
メディア・シティ・ソウル（ソウル、韓国）での展示風景

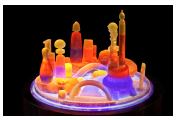
25 **チョン・ジュンホ／JEON Joonho**
1969年 釜山(韓国)生まれ。同在住。
[b] 1969, Busan, Korea [l/w] Busan

《彌勒菩薩半跏思惟像》2008-2009 撮影：木奥恵三
Courtesy: SCAI THE BATHHOUSE

26 **樫木 知子／KASHIKI Tomoko**
1982年 京都府生まれ。同在住。
[b] 1982, Kyoto, Japan [l/w] Kyoto

《土の丘 下には根 上は綱の枝 枝の向こうはコウノトリ 間でひとは蟻さがし、もしくは 石ころに似せた石ころそっくりの絵を描く》2008
高橋コレクション　© Tomoko Kashiki　Courtesy of Ota Fine Arts, Tokyo

27 **マイク・ケリー／Mike KELLEY**
1954年 デトロイト(アメリカ)生まれ。ロサンゼルス在住。
[b] 1954, Detroit, USA [l/w] Los Angeles



《Kandor City 3 4/5》 2007-2009　国立国際美術館蔵　Photo: Fredrik Nilsen

28 **ジルヴィナス・ケンピナス／Žilvinas KEMPINAS**
1969年 プランジ(リトアニア)生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1969, Plunge, Lithuania [l/w] New York

《Tube》2008 Installation view, Lithuanian Pavilion at 53rd Venice Biennale at Scuola Grande della Misericordia, Venice, 2009
Courtesy Yvon Lambert Gallery, Paris and Galerija Vartai, Vilnius

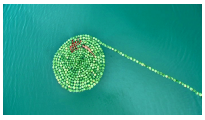
29 **金 理有／KIM Riyoo**
1980年 大阪府生まれ。同在住。
[b] 1980 in Osaka, Japan. [l/w] Osaka

《虚視坊(こしぼう)》2008 個人蔵

30 **ヨアヒム・コースター／Joachim KOESTER**
1962年 コペンハーゲン(デンマーク)生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1962, Copenhagen, Denmark [l/w] New York

《Tarantism》 2007 Courtesy: Jan Mot, Brussels

31 **シガリット・ランダウ／Sigalit LANDAU**
1969年 エルサレム(イスラエル)生まれ。テルアビブ在住。
[b] 1969, Jerusalem, Israel [l/w] Tel Aviv



《DeadSee》 2005 ©Sigalit Landau
Courtesy the artist and kamel mennour, Paris

32 **前田 征紀／MAEDA Yukinori**
1971年 日本生まれ。日本在住。
[b] 1971, Osaka, Japan [l/w] Osaka

《Light Lodge》 2007 Installation view at "Space For Your Future –Recombining the DNA of Art and Design", Museum of Contemporary Art, Tokyo, 2008 Courtesy of the Museum of Contemporary Art, Tokyo

33 **ルネ・マグリット／René MAGRITTE**
1898 -1967年 レシーヌ(ベルギー)生まれ。ブリュッセルにて没。
[b] 1898, Lessines, Belgium [d] 1967, Brussels

横浜美術館
コレクション

34 **マン・レイ／Man RAY**
1890-1976年 フィラデルフィア(アメリカ)生まれ。パリにて没。
[b] 1890, Philadelphia, USA [d] 1976, Paris

横浜美術館
コレクション

35 **クリスチャン・マークレー／Christian MARCLAY**
1955年 カリフォルニア州サンラファエル(アメリカ)生まれ。
ロンドン、ニューヨーク在住。
[b] 1955, San Rafael, California, USA
[l/w] London and New York

《The Clock》 2010 ©The artist　Courtesy White Cube

36 **森 靖／MORI Osamu**
1983年 愛知県生まれ。千葉県在住。
[b] 1983, Aichi, Japan [l/w] Chiba

《絶対領域一龍》 2008
©Osamu MORI　Courtesy of YAMAMOTO GENDAI

-

参加作家

※2011年5月現在、予定、写真は参考作品です。
※[b] born　[d] died　[l/w] live and work

YOKOHAMA 2011

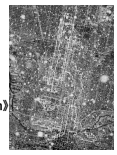
37 **N.S.ハルシャ／N.S.Harsha**
1969年 マイソール(インド)生まれ。同在住。
[b] 1969, Mysore, India [l/w] Mysore

《Here, all are devourers》 2011 Courtesy of the Artist and Victoria Miro Gallery, London

38 **リヴァーネ・ノイエンシュワンダー／Rivane NEUENSCHWANDER**
1967年 ベロ・オリゾンテ(ブラジル)生まれ。同在住。
[b] 1967, Belo Horizonte, Brazil [l/w] Belo Horizonte

《O inquilino/The Tenant》2010 Made in collaboration with Cao Guimarães, Soundtrack: O Grivo
Courtesy Galeria Fortes Vilaça, São Paulo; Stephen Friedman Gallery, London and Tanya Bonakdar Gallery, NY.

39 **ジュン・グエン＝ハツシバ／Jun NGUYEN-HATSUSHIBA**
1968年 東京都生まれ。ホーチミン(ベトナム)在住。
[b] 1968, Tokyo, Japan [l/w] Ho Chi Minh City



《Breathing is Free: 12,756.3 - Chicago Microscope (A Self-portrait),88.5km》 2010
Supported by a gift from Howard and Donna Stone and a grant from the Illinois Arts Council
Courtesy : the artist and Mizuma Art Gallery

40 **カールステン・ニコライ／Carsten NICOLAI**
1965年 カール・マルクス・シュタット(ドイツ)生まれ。
ベルリン、ケムニッツ在住。
[b] 1965, Karl-Marx-Stadt, Germany
[l/w] Berlin and Chemnitz

《autoR》 2010 Photo: René Zieger
Courtesy Galerie EIGEN + ART, Leipzig/Berlin and The Pace Gallery

41 **イサム・ノグチ／Isamu NOGUCHI**
1904-1988年 ロサンゼルス(アメリカ)生まれ。同没。
[b] 1904, Los Angeles, USA [d] 1988, Los Angeles

横浜美術館
コレクション

42 **野口 里佳／NOGUCHI Rika**
1971年 埼玉県生まれ。ベルリン在住。
[b] 1971, Saitama, Japan [l/w] Berlin

《タイトル未定》2010 Courtesy The Artist and Gallery Koyanagi

43 **スーザン・ノリー／Susan NORRIE**
1953年 シドニー(オーストラリア)生まれ。同在住。
[b] 1953, Sydney, Australia [l/w] Sydney

《TRANSIT》 2011 ©Suzan Norrie 2011

44 **落合 多武／OCHIAI Tam**
1967年 神奈川県横浜市生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1967, Yokohama, Kanagawa, Japan [l/w] New York

Installation view at Tomio Koyama Gallery, 2007
©Tam Ochiai, courtesy of Tomio Koyama Gallery

45 **オノ・ヨーコ／ONO Yoko**
1933年 東京都生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1933, Tokyo, Japan [l/w] New York

オノ・ヨーコ
Courtesy of Yoko Ono

46 **メレット・オッペンハイム／Méret OPPENHEIM**
1913-1985年 ベルリン(ドイツ)生まれ。バーゼルにて没。
[b] 1913, Berlin, Germany [d] 1985, Basel

横浜美術館
コレクション

47 **ウィルフレド・プリエト／Wilfredo PRIETO**
1978年 サンクティ・スピリタス(キューバ)生まれ。
ハバナ、バルセロナ在住。
[b] 1978, Sancti-Spíritus, Cuba
[l/w] Havana and Barcelona

《One》 2008
Photo: Ken Adlardp Courtesy the artist and NoguerasBlanchard, Barcelona

48 **スッシリー・プイオック／Sudsiri PUI-OCK**
1976年 チェンマイ(タイ)生まれ。同在住。
[b] 1976, Chiang Mai, Thailand [l/w] Chiang Mai

《Pumpkin Project》 2008
Photo: Chakkrit Chimnok

49 **トビアス・レーベルガー／Tobias REHBERGER**
1966年 エスリンゲン(ドイツ)生まれ。フランクフルト在住。
[b] 1966, Esslingen, Germany [l/w] Frankfurt

《anderer》 2002 Installation view: Geläut - bis ichs hör..., Museum für Neue Kunst, ZKM, Karlsruhe 2002
© tobias rehberger 2002 courtesy neugerriemschneider, Berlin photo: Wolfgang Günzel

50 **ウーゴ・ロンディノーネ ／Ugo RONDINONE**
1964年 ブルンネン(スイス)生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1964 in Brunnen, Switzerland [l/w] New York

《moonrise.east.march》 2005 Photo: Ellen Page Photography, New York
Courtesy the artist and Galerie Eva Presenhuber, Zürich © the artist

51 **アレクサンドル・ロトチェンコ／Aleksandr RODCHENKO**
1891-1956年 サンクトペテルブルク(帝政ロシア)生まれ。
モスクワにて没。
[b] 1891, St. Petersburg, Russia [d]1956, Moscow

横浜美術館
コレクション

52 **嵯峨 篤／SAGA Atsushi**
1970年 東京都生まれ。埼玉県在住。
[b] 1970, Tokyo, Japan [l/w] Saitama

《cube on white / white on cube (部分)》 2005 撮影：斎城卓
金沢21世紀美術館での展示風景　写真提供：SCAI THE BATHHOUSE

53 **佐藤 允／SATO Ataru**
1986年 千葉県生まれ。京都府在住。
[b] 1986, Chiba, Japan [l/w] Kyoto

《生命力》 2008-2009
Photo: Yasushi Ichikawa Courtesy of Gallery Koyanagi
Collection: Ko Wakabayashi

54 **島袋 道浩／SHIMABUKU**
1969年 兵庫県生まれ。ベルリン在住。
[b] 1969, Hyogo, Japan [l/w] Berlin

《人間性回復のチャンス》1995 神戸

-

参加作家

※2011年5月現在、予定、写真は参考作品です。
※[b] born　[d] died　[l/w] live and work

55 **杉本 博司／SUGIMOTO Hiroshi**
1948年 東京都生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1948, Tokyo, Japan [l/w] New York

《放電場216》 2010
©Hiroshi Sugimoto　Courtesy of Gallery Koyanagi

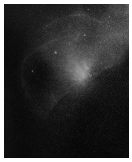
56 **孫遜(スン・シュン)／SUN Xun**
1980年 遼寧省阜新(中国)生まれ。北京在住。
[b] 1980, Fuxin, Liaoning Province, China [l/w] Beijing

《21克》 2010

57 **砂澤 ビッキ／SUNAZAWA Bikky**
1931–1989年 北海道生まれ。札幌市にて没。
[b] 1931, Hokkaido, Japan [d] 1989, Sapporo

《神の舌》1980年　撮影：佐藤雅英

58 **田口 和奈／TAGUCHI Kazuna**
1979年 東京都生まれ。同在住。
[b] 1979, Tokyo, Japan [l/w] Tokyo



《失ったものを修復する #2》 2009
© the artist, Courtesy ShugoArts

59 **田名網 敬一／TANAAMI Keiichi**
1936年 東京都生まれ。同在住。
[b] 1936, Tokyo, Japan [l/w] Tokyo

《Sweet Friday》 1975

60 **田中 功起／TANAKA Koki**
1975年 栃木県生まれ。ロサンゼルス在住。
[b] 1975, Tochigi, Japan [l/w] Los Angeles

《cups on a car》 2010

61 **立石 大河亞／TATEISHI Tiger**
1941年 福岡県生まれ。1998年没。
[b] 1941, Fukuoka, Japan [d] 1998

《大地球運河》 1994
©Tiger Tateishi　Courtesy of YAMAMOTO GENDAI

62 **冨井 大裕／TOMII Motohiro**
1973年 新潟県生まれ。東京都在住。
[b] 1973, Niigata, Japan [l/w] Tokyo

《ゴールドフィンガー》 2007　埼玉県立近代美術館での展示風景
撮影：柳場大　©Motohiro Tomii

63 **戸谷 成雄／TOYA Shigeo**
1947年 長野県生まれ。埼玉県在住。
[b] 1947, Nagano, Japan　[l/w] Saitama

《ミニマルバロック IX》 2011　撮影：武藤滋生

64 **蔡佳葳 (ツァイ・チャウエイ)／TSAI Charwei**
1980年 台湾生まれ。パリ、ニューヨーク、台北在住。
[b] 1980, Taiwan [l/w] Paris, New York and Taipei

《Sky Mantra》 2009　Taipei, Taiwan Photo Courtesy of the artist
Commissioned by Sherman Contemporary Art Foundation, Sydney

65 **薄久保 香／USUKUBO Kaoru**
1981年 栃木県生まれ。東京都在住。
[b] 1981, Tochigi, Japan [l/w] Tokyo

《D&D Delicate discovery 》 2007　© Kaoru Usukubo
Courtesy of TARO NASU　Collection of Dazaifu Tenmangu Shrine

66 **歌川 国芳／UTAGAWA Kuniyoshi**
1798-1861年　江戸(現東京都) 生まれ。同没。
[b] 1798, Edo (Tokyo), Japan [d] 1861, Edo

《東都三ツ股の図》1831年頃
所蔵: 川崎・砂子の里資料館

67 **アピチャッポン・ウィーラセタクン／Apichatpong WEERASETHAKUL**
1970年 バンコク(タイ)生まれ。チェンマイ、バンコク在住。
[b] 1970, Bangkok, Thailand [l/w] Chiang Mai and Bangkok

《PRIMITIVE》 2009　© Illuminations Films and Kick the Machine Films
Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE

68 **八木 良太 ／YAGI Lyota**
1980年 愛媛県生まれ。京都府在住。
[b] 1980, Ehime, Japan [l/w] Kyoto

《音楽の光》 2006　© 2006 Lyota Yagi　courtesy of Mujin-to Production, Tokyo

69 **山下 麻衣＋小林 直人／YAMASHITA Mai + KOBAYASHI Naoto**
山下：1976年 千葉県生まれ。ベルリン在住。
小林：1975年 千葉県生まれ。ベルリン在住。
YAMASHITA: [b] 1976, Chiba. [l/w] Berlin
KOBAYASHI: [b] 1975, Chiba [l/w] Berlin

《A Spoon Made From The Land》2009, Mai Yamashita+Naoto Kobayashi
Courtesy of Artists and Takuro Someya Contemporary Art

70 **尹秀珍（イン・シウジェン）／YIN Xiuzhen**
1963年 北京(中国)生まれ。同在住。
[b] 1963, Beijing, China [l/w] Beijing

《one sentence》 2011　Photo: Song Dong

71 **横尾 忠則／YOKOO Tadanori**
1936年 兵庫県生まれ。東京都在住。
[b] 1936, Hyogo, Japan [l/w] Tokyo

《黒いY字路3》 2011　撮影：上野則宏

72 **湯本豪一コレクション／YUMOTO Goichi Collection**

《化者尽くし》江戸後期　湯本豪一コレクション　©今井 智己

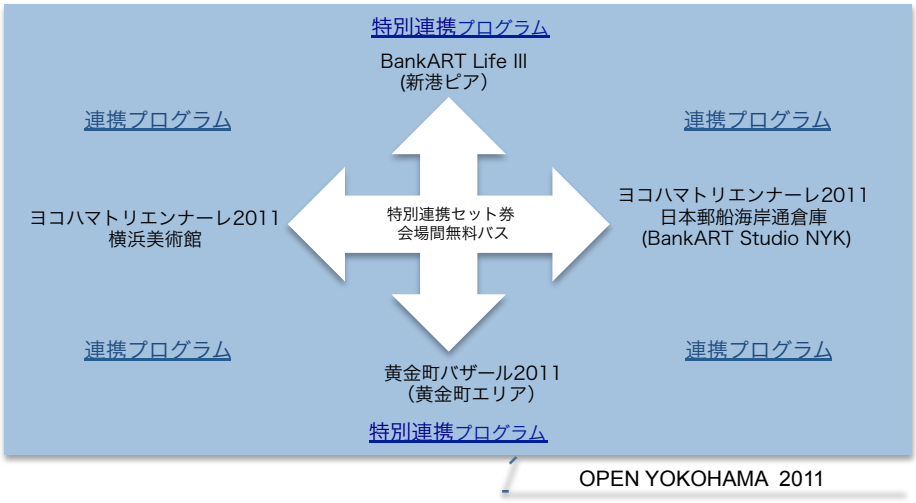
まちにひろがるトリエンナーレ･･･横浜をアートでいっぱいに

横浜市は「創造都市横浜」を掲げ、歴史的建造物の活用による創造界隈拠点の形成など、文化芸術によるまちづくりを行ってきました。ヨコハマトリエンナーレ2011の期間中、これらの拠点との連携を図り、横浜をアートでいっぱいにし、横浜を楽しく街歩きできるようにします。

（1）特別連携プログラム：
BankART Life Ⅲ（ディレクター：池田修氏）及び黄金町バザール2011（ディレクター：山野真悟氏）がヨコハマトリエンナーレ2011と同じ会期（8月6日～11月6日）で開催されます。
様々なアートのあり方・可能性を気軽に体感していただくため、ヨコハマトリエンナーレ2011は、特別連携セット券の発行、会場間の無料バスの運行などにより連携を行います。

（2）連携プログラム：
ヨコハマトリエンナーレ2011は、創造界隈拠点等で開催されるアートプロジェクトと連携をとりながら、まちじゅうでアートイベントが開催されることを目指します。

（3）OPEN YOKOHAMA 2011：
様々な横浜の楽しみ方を提案するキャンペーン「OPEN YOKOHAMA 2011」を今年はトリエンナーレの会期に合わせて行います。昨年度は約2か月間に200以上のイベントやツアーなどが行われました。トリエンナーレに来た方にも、それだけではない横浜を楽しんでいただけます。
詳しくは会期中に配布されるリーフレットをご覧ください。



1-主なイベント等

（1）特別連携プログラム：
新・港村（しんみなとむら）～小さな未来都市（BankART Life Ⅲ）

新・港村はあらゆる国と種類のクリエイターが働く蚤気楼のような小さな未来都市です。村の家や動物園や劇場は、優れた建築家やアーティストによってデザインされますが、全て廃材や粗大ゴミ等で構成されます。
そして外部から電気をいただきません。太陽光発電と充電システム、また楽しみながらの人力発電でなんとかやっていきます。トイレも焼却型。夜はLEDや行灯が灯ります。新・港村は、東北と横浜の間を人や物資や知恵や力を積んで、何度も往来するためのプラットフォームです。毎週でるバスが、東北人と新・港人をつなぎ、未来社会へと出航します。
主催：BankART1929
会場：新港ピア　〒231-0001 横浜市中区新港2-5
問合せ：Tel:045-663-2812 (BankART1929 Office)　URL: http://www.bankart1929.com

黄金町バザール2011

アートによるまちの再生というテーマのもと、2008年より始まった「黄金町バザール」は今年で４回目を迎えます。2011年度は、街の環境を生かしたアーティスト・イン・レジデンス・プログラムに焦点をあて、国内外のアーティスト約20組が黄金町に滞在しながら、街という日常空間の中で多彩なプロジェクトを展開します。既存のスタジオや店舗空間、屋外空地の他、2011年夏に完成する京急線の高架下の新施設も会場として加わり、街全体がアーティストのアトリエ、また発表場となる実験的な３ヵ月間のプログラムです。

主催：黄金町エリアマネジメントセンター、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会
会場：黄金町エリア　〒231-0066 横浜市中区日ノ出町2-158
問合せ：Tel:045-261-5467（黄金町エリアマネジメントセンター）　URL: http://www.koganecho.net/

（２）連携プログラム：
以下その例をご紹介します。連携プログラムは徐々に増えますので、
最新の情報は公式サイトhttp://yokohamatriennale.jp/でご覧ください。

①クシュトフ・ヴォディチコ：アートと戦争
　国際シンポジウム＋パブリック・プロジェクション「War Veteran Vehicles 2011」（世界初公開）
　主催：北仲スクール　会期、会場など詳細はweb上で公開します。http:// kitanaka-school.net

②人形浄瑠璃文楽『杉本文楽 木偶坊 入情 曾根崎心中付り観音廻り』
　主催：公益財団法人小田原文化財団／会場：神奈川芸術劇場
　開催日：8月14日～16日

③関内外OPEN! （アーティスト・デザイナー・建築家によるアトリエ公開など）
　主催：関内外OPEN!連絡協議会（予定）
　開催日：9月～11月（予定）

④若葉台空の芸術祭（空をテーマにした作品を若葉台全域で展示予定）
　主催：若葉台空の芸術祭実行委員会／会場：若葉台団地一帯（横浜市旭区）
　開催日：9月23日～10月2日予定

⑤聞き耳ワールド（お散歩型音声ガイド）／スマートイルミネーション横浜（環境共創型の夜景演出）
　主催：象の鼻テラス　会場：関内周辺など
　開催日：「聞き耳」は8月6日～11月6日、「イルミネーション」は10月7～9日予定

©427FOTO

2-ＰＲキャラバン隊
象の鼻テラスを運営するスパイラルがプロデュースするヨコハマトリエンナーレ2011 PRキャラバン隊。まことクラヴの遠田誠を隊長としたキャラバン隊が、6月より横浜市内外でPRパフォーマンスを行います。
パフォーマンスの予定や記録はweb上で公表する予定です。

3-公式グッズの公募
「グッズがいいからトリエンナーレに行こう」と思っていただけるくらい魅力的なグッズをトリエンナーレ会場の他、創造界隈拠点などでも販売するため、公式グッズの開発・製作を公募し、組織委員会が受託して販売します。
随時募集していますので、ご提案をお待ちしております。
http://yokohamatriennale.jp/

4-ヨコハマトリエンナーレ2011応援企画
一緒にトリエンナーレを盛り上げ、応援していただけるイベント・企画等によって、まちじゅうにヨコトリ応援ロゴマークが溢れます。
『ヨコトリへ行こう!』を一緒に広め、多くの方々に様々な形でヨコハマトリエンナーレを楽しんでいただきます。

2011.8.6→11.6
ヨコトリへ行こう
YOKOHAMA TRIENNALE 2011

お問い合わせ

展覧会に関するお問い合せ

横浜トリエンナーレ組織委員会事務局
(横浜美術館内)
担当：藤井
TEL: 045-663-7232
FAX: 045-681-7606
E-MAIL: press@yokohamatriennale.jp

広報に関するお問い合わせ

ヨコハマトリエンナーレ2011　広報事務局
（ナンジョウアンドアソシエイツ内）
担当：西山、柴田、市川
TEL: 03-6408-5559
FAX: 03-6408-5523
E-MAIL: yt2011@nanjo.com

市政に関するお問い合せ

横浜市文化観光局創造都市推進課
（横浜市役所内）
担当：鴇田、山岸
TEL：045-671-2278
FAX：045-663-1928
E-MAIL：bk-tri@city.yokohama.jp

横浜トリエンナーレ組織委員会事務局
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内
TEL:045-663-7232
FAX:045-681-7606
E-MAIL: info@yokohamatriennale.jp